

質の高い大学教育推進プログラム ものづくり講演会（市民公開）

「福井らしい街の灯り」

ピーター・ボイス先生を招いて

- ・日時：2009年11月25日（水）13:00～15:30
- ・場所：福井大学 文京キャンパス アカデミーホール
- ・参加：無料（一般の方もお越しください）
- ・内容：1. 明石行生, 高橋さえり, 旭翔一（福井大学）

「福井の夜景紹介」

2. Dr. Peter R. Boyce

“Lighting the Streets of a Town:Fukui”

3. 質疑・討論「福井らしい街の灯りとは」

日本語で概要を解説し、必要に応じて質疑応答を通訳します。

- ・問合：福井大学大学院工学研究科 明石行生, 白倉公隆
0776-27-8498 akashi@u-fukui.ac.jp

現在、環境問題は地方都市の夜間照明にとって重大な課題ですが、見方を変えると未来に向けて夜景を改善できる好機でもあります。日本の夜間照明は欧米に比べて明るいですが、質は劣ります。照明の研究で著名なボイス先生をイギリスからお招きし、エコ、安全性、機能性、快適性、健康の観点から地方都市の照明のあり方についてお話しいただきます。それを踏まえて、大都市には無い、福井らしい灯りについて話し合しましょう。

There are numerous reasons for lighting the streets of a town at night. The most obvious is the desire to do something to enhance the safety of pedestrians and drivers. They extend to wishing to deter crime, to increase economic activity and to create a beautiful nighttime environment that adds to the enjoyment of life. This presentation will introduce scientific evidence of the value of lighting for improving the safety of pedestrians and drivers and for deterring crime.



Dr. Peter R Boyce の紹介

ボイス先生は、光・照明環がヒトの視作業性、快適性、健康に及ぼす影響に関する研究とその応用に専念されてきた。最近の著書 Human Factors in Lighting (2003) および Lighting for Driving (2009) は、世界中の高等教育に広く用いられている。現在、照明コンサルタント、英国建築設備学会 (CIBSE) の Lighting Research & Technology 編集長。米国 Rensselaer Polytechnic Institute 名誉教授。

View from Takeda mountain

Atagozaka

Asuwa river and Tsukumo bridge

Orouka bridge

Awara street